


ジャガイモ塊茎えそ病・タバコ黄斑えそ病撲滅作戦!!

共に生きよう、地域ぐるみで取り組もう、協調体制こそがお互いの明日を約束します

ジャガイモ塊茎えそ病

●発生部位 葉・茎・塊茎
●感染時期 春作：アブラムシ飛来増加時期(4月下旬)～収穫期
秋作：9月上旬～11月
●ポイント(病気の特徴)

(1)地上部は無病徴、あるいは軽いえそ症状斑点または葉脈えそ症状。
(2)塊茎での特徴は次の4種類。また、塊茎の症状は貯蔵中に進展し、増加します。
①陥没症状：塊茎表面に1cm内外の黒色の穴が生じ、深部が茶色に変色
②黒目症状：塊茎表皮下内部が茶～黒色に変色
③ミミズ腫瘍症状：塊茎表皮がミミズ状に腫れ、その後黒く沈んだ状態になる
④内部褐変症状：外観に異常はないが、塊茎内部に1cm内外の褐変がある




(症状例)

タバコ黄斑えそ病

●発生部位 葉・茎・根
●感染時期 土寄以降～心止期
●ポイント(病気の特徴)

①葉脈が網目状にえ死、葉肉部分にえそ斑点を生じる。
②葉面は凸凹となり、外側に巻いて垂れ下がる。
③重症株は生育も劣り、枯れ上がる。



同じウイルスが
アブラムシを
通して感染!

ばれいしょ畑とたばこ畑の隣接回避

★100m以上離して作付けしよう!!

ばれいしょ	作付前 重要ポイント	1月	防除 ・障壁作物(ライ麦等)作付(前年11月)	たばこ
	植付	2月	植付 ・防虫網等設置	
	出芽	3月	植付 ・アブラムシ回避用被覆物使用	
	防除	4月	防除 ・トンネル除去	
	収穫	5月	防除 ・薬剤散布(4月～5月)	

アブラムシが畑に飛びまわり、ジャガイモ塊茎えそ病を媒介します

アブラムシに注意期間

ばれいしょとたばこの協調体制による一斉防除


★ピンポン感染をふせごう!! ★農薬の飛散に注意をばらおう!!

ばれいしょ	作付後 重要ポイント	6月	たばこ	
	植付	7月		収穫 ・収穫後の畑清掃
	出芽	8月		
	防除	9月		
	収穫	10月		

9月

●薬剤散布 10/初から7日毎に2～3回

●収穫後の畑清掃



お問い合わせ 農林水産部 農林課 農林班 TEL050-3381-5060

農薬は正しく使いましょう

平成18年に食品衛生法が改正され、農産物が残留農薬基準値をオーバーしてしまうと、出荷停止・回収などの対応が求められる可能性があります。以下のことに注意して農薬を使用しましょう。

■購入時の注意事項(確認作業を)

- ①登録されている農薬かどうか確認をしましょう。(「農林水産省登録第〇〇〇号」と記載があります)
- ②必要な農薬を確認しましょう。(農作物、害虫、病気、雑草の種類など)
- ③購入量は必要量をよく考えて決めましょう。

■散布する時には(容器ラベルを必ず読んで)

特に「対象作物」「使用回数」「使用期間」「使用上の注意」には注意しましょう。違反すると罰則が科せられる場合もあります。

- 体調が悪いときは作業をやめましょう。熱がある、寝不足、疲れぎみ、二日酔い、手足にキズがある、妊娠・生理中などのときは、作業は中止しましょう。
- 薬剤調整時や散布時は、「マスク」「帽子」「保護メガネ」など防除衣を必ず着用しましょう。また、2時間以上の連続散布は避けましょう。

■散布のあとには(必ず散布器具の洗浄を)

農薬残留基準値超過の事例の中で、最も多い原因が散布器具の洗浄不徹底です。散布器具のタンクやホース内の洗浄を徹底し(3回以上)次回の散布薬液への残液の混入を防いでください。

■保管場所にご注意

農薬の盗難、いたずらを防ぐためにも、農薬は鍵のかかる保管庫などに適切に保管しましょう。

お問い合わせ

農林水産部 農林課
TEL 050-3381-5060

鳥インフルエンザウイルスの侵入を防ぎましょう

鳥インフルエンザは、感染した鳥類または本病のウイルスに汚染された排せつ物、飼料、水、野鳥、人、器具および車両などとの接触により感染するので、次のような発生予防対策が必要です。

■予防対策

- ①防鳥ネットなどを設置し、野鳥や野生動物の鶏舎等への侵入を防ぐとともに、ねずみやハエ・ゴキブリなど、害虫の駆除を徹底しましょう。
- ②鳥の飲み水には池や湖などの生水は使わず、水道水や消毒した水を給与しましょう。
- ③農場の出入り口に消毒槽を設置し、人や器具・車両などの消毒を徹底するとともに、関係者以外の農場への立ち入りを制限しましょう。
- ④産卵率の低下や死亡羽数の増加などがないか、毎日観察しましょう。

本病の主な症状は、突然死、元気消失、食欲・飲水欲の減退、産卵率の低下、肉冠・肉垂・顔面の腫れやチアノーゼなど多様で、特徴的なものではありません。



(症例) 半ば眠ったような状態で、強い刺激を与えないと覚醒し反応しない。

※異常が認められた場合は、すぐにご連絡ください。

連絡先・お問い合わせ

県南家畜保健衛生所
TEL 0957-68-1177
農林水産部 農林課
TEL 050-3381-5060